



『ある人が来たら、こう言って、こんな事やって』……頼まれたことはありませんか？

集団ストーカー犯罪にご注意を！

うっかり引き受けると、傷害事件に巻き込まれることもあります。

集団ストーカー犯罪とは

ターゲットとなった人の社会的信用を失墜させるため
職場・地域・店舗等あらゆる場所にウソの噂を流します。

ターゲットとする人を、犯罪者や危険人物に仕立て上げ
職場、地域で監視するようあらゆる場所に働きかけます。

盗聴・盗撮、尾行、聞き込みなどによって私生活を覗き見し
それをターゲットに仄めかすことで精神的圧迫を与えます。

「あの人は〇〇だから…」 嘘・デタラメを流します！

- 人格に問題があって嫌われている
- 異性にだらしないから気をつけた方がいい
- 重度の精神病で何をするか分からない
- 上司の××さんの悪口を言っていた
- 性犯罪者、過激派 など

目的は企業のリストラ工作や 個人・団体による嫌がらせ

- 不都合な社員を自主退職に追い込むための企業工作
- 個人的に気に食わない人を精神的、経済的に
圧迫し、社会的抹殺、自殺に追い込むため
- 新興宗教団体などが脱会者や敵対者に対して
行う嫌がらせや情報収集活動

噂を聞かされた後、こんなことを頼まれます！ 協力しないで！！

- ▶ あの人の前でこう言って
- ▶ あの人が来たら咳き払いをして
- ▶ あの人が来た大きな声で笑って

言っていると頼まれた言葉は被害者の私生活を盗聴・盗撮して得た情報で、覗き見を仄めかす内容になっています。

依頼された行為は、あなた以外の多数の人にも依頼されており、被害者には集団での嫌がらせと感じる仕組みになっています。

※盗聴・盗撮で得た個人情報了他者と共有する行為は犯罪です。

目的は『集団いじめ』。加害者は功妙な理由を仕立てて頼んできます。

『あの人は犯罪者だから』

『世の中の仕組みを教えるため』

『マイナス思考を取り去るため』

『あの人の所属会社や親に頼まれて』

『連想ゲームをしている』

『大規模なドッキリ』

『特定団体が尾行していることを教えるため』

『あの人の病気を直すため』

『警察への協力』など

WEB・テレビ・雑誌などでも報道されています。

【ツカサネット新聞】

やりすぎ『防犯パトロール』特定個人を尾行・監視。対象者が店舗に入ると店員に警戒するよう「密告」。あたかも万引き常習者のように付きまといられる。



【日刊サイゾー】

●産業医が、大手企業が某宗教団体の行動部隊へ集団ストーカーを依頼していたことを告白。「一部の教団にはそういう業務を請け負う部隊がある」



【J-CASTニュース】

大手企業は社員を辞めさせる方法としてガスライティング工作（集団ストーカー）を行っている。「間接的な嫌がらせ」で自主退職に追い込む。ブラック企業アナリストによる解説。



●法律事務所の弁護士と大手企業が結託してリストラ手段に産業医制度を悪用。『産業医に見てもらえ』と強要し精神病に仕立て上げようとする。セクハラを訴えたOLの多くが社会的に抹殺

